

空港地上支援業務 学生が技能を競う

中日本航空専門学校

関市迫間の中日本航空専門学校で14日、エアポートサービス科の学生による技能コンテストが開かれた。出場した2年生約20人が、空港で使われる車両の運転



トイイングトラクターに学生が乗り込み運転技能を競ったコンテスト。関市迫間、中日本航空専門学校

の正確性などを競った。
地上支援業務の実践的な技術を磨く同科グランドハンドリングコースの学生を対象に、業務の技能向上を目的に毎年開催する。
会場では、空港で使われるけん引車両「トイイング

トラクター」に学生が乗り込んでパレットをけん引し、8の字のコースを前進と後進で計2周を回った。学生たちは真剣な表情で臨み、運転の安全性や正確性、スムーズな操作性を競い合った。
(高橋友基)